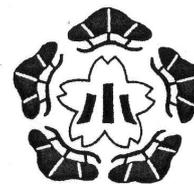


学校教育目標 【自分も みんなも 大切にする子】

# むくの木



掛川市立横須賀小学校 令和5年2月1日 第9号

## 校章に込められた願い

学校には、「校旗」があります。横須賀小学校では、学校のある日には毎朝、児童会の子供達が運動場北側にある掲揚台に国旗と並べて校旗を揚げています。また、入学式や卒業式といった行事が行われる時には、演台の横に校旗が飾られます。行事の時に飾られる校旗は、刺繍で作られ、金色のふさがついて、なかなか豪華なつくりになっています。

校章は、いつ作られどのような願いが込められているのでしょうか。「横小開校百年誌」に校章についての記述があります。

横須賀小学校の校章は、大正3年5月1日に大須賀村が横須賀町となり、大須賀尋常高等小学校が横須賀尋常高等小学校と改称されたのを記念してできたものである。大正3年度の新学年を迎えるにあたり、校舎の増築があり、分教場(三熊野神社側の校舎)が廃止されて本校に合併し、運動場が拡張され、町制施行が間近になっていたことなどで、新進の気分が満ち溢れている有様であった。岡本校長は4月早々、学校の紋章を定めたいことを発表して、その考案を職員から募集された。 ～中略～

校章のあることは当時としては珍しく、殊に小学校としては珍しかった。

横須賀小学校の校章は、桜と榊松(くしまつ)の図案です。校章は、校旗や名札にも使われています。このあいだ誕生したばかりの150周年記念キャラクター「よこしょーくん」も校旗を持っています。

桜には愛国、榊松には愛郷の意味が込められているそうです。桜は、日本の代表的な花として親しまれ、菊とともに日本の国花にもなっています。

榊松の模様は、松の梢を支える幹を串に見立てて描いています。一年中青々とした葉をつける松は長寿の象徴とされています。また、榊松は、西尾家の家紋でもあります。西尾家は、横須賀藩主です。1682年(天和2年)、西尾忠成が13代城主となってから8代にわたって城主となりました。西尾家歴代のお墓は、龍眠寺にあります。龍眠寺は、明治6年に横須賀学校が創立した際、分校として女子が通ったお寺です。

150周年をきっかけに、学校にある古いアルバムや書籍、冊子などを見返すことが増えています。今まで知らなかったことを知ることができるとともに、いろいろなつながりが見えてきました。知ることが、楽しさや喜びになっています。子供達にも、学校の歴史や横須賀地区の歴史、地域に受け継がれている文化や伝統を学ぶ機会を多くしたいと考えています。

